

ふくしまの森林文化調査カード

No.21

県 HP公開 (  可 ・ 否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 加工(根曲り竹細工)	(ふりがな) かこう(ねまがりたけざいく)	
地域独特の呼び方	—	—	
氏名(ふりがな)	武藤 観太郎	むとう えいたろう	
性別・年齢	<input checked="" type="checkbox"/> 男 ・ 女	72歳	
生年	明治 ・ 大正 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 ・ 平成	14 年生	
住所・電話	〒966-0022 喜多方市熊倉町雄国字村中丙590 電話0241-25-7722		
職業	農業、根曲り竹細工制作		
活動年数	56年		
活動場所	喜多方市、北塩原村、猪苗代町等の雄国沼及び磐梯山周辺の山林		
活動内容	<p>根曲り竹は、別名ジダケとも呼ばれ、会津を代表する山菜である。標高が高く、雪深い会津に多く生育している根曲り竹は、生活に不可欠であった箆や籠などの材料として利用され、農閑期の冬仕事として貴重な収入源でもあった。武藤氏が根曲り竹細工を始めた昭和20年代後半から30年代が最盛期であったが、その後プラスチック製品に取って代われ、昭和50年代頃から需要が少なくなった。このような中、地区に残る伝統工芸を保存継承するため、平成4年、地区の有志により、「雄国根曲り竹細工保存会」が設立された。武藤氏は、保存会の設立に尽力するとともに、高齢の会員が多い中事務局を担い保存会の活動を精力的に行っている。また、グリーンツーリズムや教育旅行の受入れ、実演・販売等を行うとともに、地区の若者に対する指導も行い後継者の育成に努めている。</p>		
文化財等の指定状況	「福島県伝統工芸品」指定(平成15年)、平成21年「森の名手・名人100人」(国土緑化推進機構選定)		
問い合わせ先	雄国根曲り竹細工保存会(Tel:0241-25-7225)		

【フリーフォーマット】

キーワード	
◇根曲り竹	根曲り竹とは、名前のとおり根本が反るように曲がった竹で、直径は5～8mmで、雄国山の高さ1,000m以上の場所で自生している笹の1種。
◇雄国根曲り竹細工保存会	雄国地区の人々は、江戸時代の初めころから、この根曲り竹をナタだけで加工し、細工して編みあげ、ザルや籠など日常生活用具を作ってきた。戦後、竹細工はプラスチックに取って代われ、時代とともに作り手も減少したが、1992(平成4)年に「雄国根曲り竹細工保存会」が設立され、技術の伝承に取り組んでいる。
	
(写真:上 展示場 下 武藤叡太郎氏)	